【町長挨拶】

皆様おはようございます。まず情報提供でございますが、11 日(日)、矢巾町ロードレース大会が行われました。その前の週にいわて盛岡シティマラソンが行われ、参加者が減るのではと心配しましたが、昨年と同じくらいの 622 名にご参加いただきました。最年長は 82 歳男性の方、女性は 72 歳と、私くらいの年齢の人も走っていてすごいことだと思いました。最年少は４歳のお子さんで、家族ペアの部に参加されておりました。家族ペアでは、子どもが先に来てゴール前で待っている。そしてゴールした途端にほっとするのか残念なのか、一緒に走った子どもさんが泣いている光景を見て、なんとなく微笑ましく感じました。やっぱり家族ペアはこれからもロードレース大会で無くされないなとそういう思いになりました。

今日の定例記者会見の大きな目玉は、矢巾町フューチャー・デザインです。今回、活用指針を作りましたので、ご紹介させていただきます。矢巾町はいろんな意味でこのフューチャー・デザインが注目されておりますので、職員に定着できるようこの指針の内容をしっかり捉えて、いろんなものに活かしていきたいと思います。また、新年度の施政方針などで説明した、スマートシュリンクとフューチャー・デザインは組み合わせてやっていかなければなりません。今となっては矢巾町でも人口規模は縮小しておりますので、地方交付税や税収にも影響があり、今後は財政事情も非常に厳しくなってくるのではないかと心配しております。今後このフューチャー・デザインとスマートシュリンクをうまく組み合わせて町政運営をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

【内容発表】

１　矢巾町フューチャー・デザイン活用指針について（未来戦略課）

フューチャー・デザインに関しまして、まず私たちから見て、過去の世代がいろいろ考えてくださって今の時を迎えていることが必ずしも成功ばかりではございません。我々にとってみればそれは失敗であったということもあるかと思います。次に、時をずらしまして私たちがこれからの未来を考えるときに、将来世代が果たして本当に幸せになれるだろうか、失敗と思うことはないだろうかということで、将来世代に仮想でなって、将来から現代の世代の施策を検討するという手法です。将来世代の幸せのために何をすべきかを考えて合意形成や意思決定を行います。

このフューチャー・デザインの活用指針の中では、「しあわせ」がひらがなで書かれておりますが、こちら幸福の「幸せ」は自分自身の満足に関するもの、ここに人偏を付けた「倖せ」は地域や人と人がつながることでの満足であり、この２つを将来世代のウェルビーイングというふうに考えまして、ひらがなで「しあわせ」と表現しております。

矢巾町はこのフューチャー・デザインに関して、日本で 1 番最初に総合計画の策定にフューチャー・デザインの手法を取り入れた自治体であり、これまで様々な長期計画の策定に関しましてフューチャー・デザインのワークショップを行い、そこで出た意見を取り入れてきましたが、これまで指針やガイドラインにあたるものはありませんでした。昨年町長からこういった取り組みをしてはどうかと話をいただきまして、その後フューチャー・デザインの担当課とこれまで取り組んできた数名と一緒に検討いたし

まして、今回の策定に至りました。先ほど申した通り、フューチャー・デザイン活用における基本的な考え方、政策推進における判断及び行動の基準を定めるガイドラインとして位置づけております。これまでの活用事例として、総合計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略、公共施設等総合管理計画、都市計画マスタープランなどに活用して参りました。活用対象としましては、長期行政計画の策定・改定及び評価、そのほか公の施設の新設に係る事業検討、町民の学習活動、職員研修などに使っていきたいと考えております。この体制といたしましては、未来戦略課と連携して、所管する事業担当課でフューチャー・デザインのワークショップを行いまして、意見の集約を図っていくというものでございます。

２ 令和８年度福祉×まちづくりフォーラムについて（福祉課）

このイベントは身近な地域における支え合いの気運の醸成や活動の活性化などを目的として令和６年度から重層的支援体制整備事業の一環として実施しているイベントでございます。毎回テーマを設けており、今回は、「身寄りのない方に対する支援」ということで、身寄りのない方に対する支援、終活支援で全国でもトップランナー自治体である横須賀市の取り組みを第１人者であります北見万幸さんにお越しいただき講演いただくほか、NPO法人で、テーマに関する活動をしている「グリーフサポートもりおか」、それから「矢巾町の地域包括支援センター」こういった方々にご登壇いただきまして、活動報告をしていただくほか、岩手県立大学の宮城教授のコーディネートよるパネルディスカッションを行うというイベント内容となっております。

３ 令和８年度矢巾町健康福祉表彰式の開催について（健康長寿課）

矢巾町が目指している健康長寿のまちづくりを実践し、健康の保持増進に積極的に取り組まれている皆様について、町民の模範となることから表彰式を行います。10 月 29 日(木)午後 1 時半から、場所は矢巾町保健福祉交流センターさわやかハウスです。「元気で長生き表彰」では、90 歳を迎えてなお元気でご活躍されている方、21 名が表彰対象となっております。続きまして「８０２０健康な歯表彰」では、80 歳を過ぎた今でも 20 本以上の歯が認められ、多くの丈夫な歯と健康な身体を維持させている方、13 名が表彰対象となっております。

４ 友好都市フリモント町への派遣及び結団式について（文化スポーツ課）

友好都市であるアメリカ合衆国フリモント町へ中学生、高校生を派遣することに伴い、結団式を開催します。まず派遣期間は 10 月 22 日(木)から 11 月２日(月)の 12 日間となっております。今年の派遣団は高校生が１名、中学生が４名、引率３名の合計８名となっております。内容は例年どおり、フリモントの学校に通って、生徒たちが今一生懸命練習しているプレゼンテーションの披露や、現地でのホームステイを通してアメリカと日本の文化の違いなどについて学んできてもらいます。派遣団の結団式は 10 月 20 日(火)午後 5 時から、場所は矢巾町活動交流センターやはばーくにて行います。代表生徒によるプレゼンテーションの発表や決意表明を行う予定です。

５ 宮沢賢治生誕 130 年記念シンポジウムの開催について（文化スポーツ課）

宮沢賢治の生誕 130 年を記念しまして、矢巾町内で宮沢賢治の研究などを行っている「矢巾町宮沢賢治を語る会」と教育委員会が主催となり「地域と若者へ～賢治さんからのメッセージ～」というテーマでシンポジウムを開催します。日時は 10 月 23 日(金)午後０時 50 分開場、午後１時 40 分開演、会場は矢巾町文化会館田園ホールです。内容は２部構成となっており、第１部が基調講演、こちらの講師は宮沢賢治の弟、宮澤清六さんの孫、宮沢和樹さんです。株式会社林風舎の代表取締役をされております。第２部はパネリスト４名とコーディネーター１名の５名でパネルディスカッションをしていただきます。パネリストは、エッセイストの澤口たまみさん、岩手大学名誉教授の望月善次さん、矢巾町宮沢賢治を語る会の高原弘明さん、そして基調講演にもご登壇いただく宮沢和樹さん、そして矢巾町教育長の岡田秀二がコーディネーターを務めさせていただきます。今回、「地域と若者へ」というテーマですので、町内の中学校からそれぞれ１学年ずつ、矢巾中学校は１年生、矢巾北中学校は２年生の生徒さんをご招待することとしております。入場無料、申込不要としておりますので、皆様のご来場をお待ちしております。また、会場内にも矢巾町宮沢賢治を語る会の活動紹介や、盛岡中学時代に賢治が使っていたとされる賢治のノートをお借りすることができましたので、そちらの展示を行いたいと思っております。

【質疑】

≪矢巾町フューチャー・デザイン活用指針について≫

●記者

フューチャー・デザインに関して、町長のお話の中で「スマートシュリンク」という言葉が出たが、こちらはどういった意味か。

●町長

スマートシュリンクは「賢く縮む」という意味です。私が就任した年、上下水道特に上水道の料金の値上げをずっと先送りにしていました。その時に料金の値上げをするということは町民の皆様の理解を得なければならないということでワークショップ開催したのがフューチャー・デザインのスタートです。そこからいろんな大学の先生方から指導助言をいただいて、今日があります。今までは担当の判断や経験でやっていたが、これは基本的な指針をまとめてなければということで、今回まとめたわけです。自分たちの世代さえ良ければ良いということではない。やはり今の現役世帯だけでなく、今の子どもたちや孫世代になりきって議論をして方向性を導き出す考え方が重要です。あと今は、行政、特に地方自治体は単年度で予算を組んで決算しているので、１つ基礎となる方向性を作ることが大切になります。それからスマートシュリンクについては、地域の方々や利用者を巻き込み、地域の事業やイベントについて、統合や規模の縮小を考えていかなければいけないということです。

●記者

活用指針が９月 14 日に策定されたが、全国または県内で事例はあるのか。

●担当者

県内では初めてですし、全国的にも例がないと考えております。

≪令和８年度矢巾町健康福祉表彰式の開催について≫

●記者

90 歳以上の 21 名の中で何か現役で活躍されている方はいらっしゃるか。

●担当者

町民として 90 歳の方でご存命の方は 121 名いらっしゃいます。その中から介護保険などを利用せずに元気に暮らしている方が 44 名おり、その皆様に保健師や看護師が家庭訪問をして、表彰式に参加していただける方が 21 名となっております。直接訪問して話を伺っておりますので、活躍されている方については確認させていただきたいと思います。

≪友好都市フリモント町への派遣及び結団式について≫

●記者

フリモント町への派遣について、帰ってきてからの発表はあるか。

●担当者

派遣団による報告会が予定されておりまして、11 月 29 日(日)の午前中、場所はやはぱーくにて行う予定です。

≪その他　矢巾町秋まつりについて≫

●担当者

矢巾町秋まつりの日程について、７月の定例記者会見の時に、俳句大会の表彰式を 18 日(日)の午前中に開催すると申し上げましたが、午後１時からの開始時間に変更となりましたのでお知らせいたします。

（10 時 00 分 終了）